



町花：山百合

# 議会だより

## 3月定例会

No.123

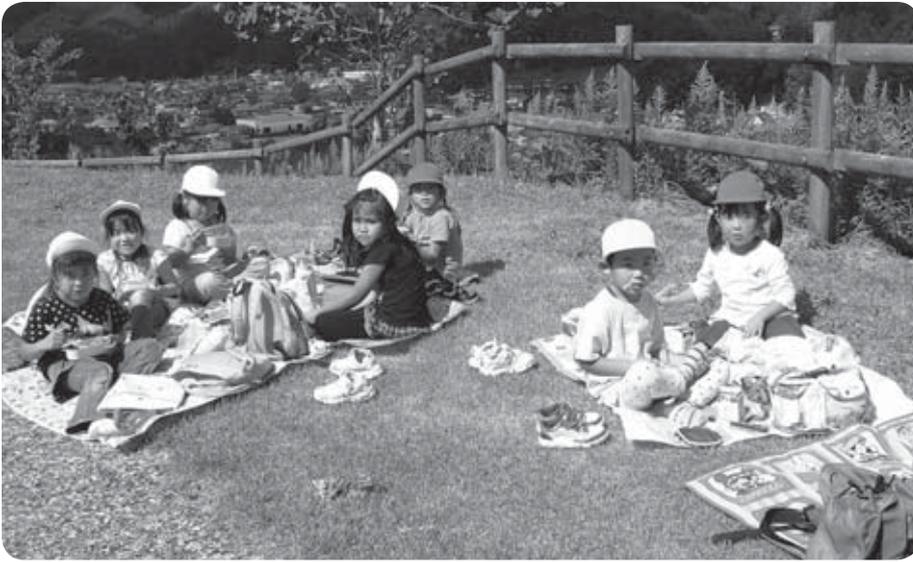
平成25年4月20日

地方分権を進める条例等審議……………	2
一般会計は38億2,500万円……………	4
一般質問 25年度の主な事業など6議員が9問……	8
幼保施設工事契約の締結（臨時会）……………	15



**みんなでピース**  
**期待を胸に 古殿幼稚園の新園児**

# を高めるため や改正をしました～



地域の自主性と自立を高めるために、事務処理や義務付けが取りかわれ（地域主権改革推進法(略)）市町村独自の判断で基準を設けられるようになりました。町道関係では、構造の技術的基準を地域特性やニーズに応じた整備が図られる。

3月定例会は、3月8日から14日まで、7日間の会期で開催されました。道路等構造の技術的基準を定める条例のほか、人権擁護委員の推薦、平成25年度当初予算など27の議案を審議し、原案のとおり可決しました。一般質問には6人の議員が新年度事業、放射能汚染への対応、産業振興など9問に論戦を展開しました。

## 地域主権改革推進法(略)公布により

### 町独自の基準を制定

○地域密着型介護サービス並びに介護予防サービスを行う事業所に対する指定や指導監査の根拠となる基準を制定しました。

○道路等の構造の技術的基準（歩道・車道の幅員等）や道路等に設ける道路標識の大きさを決めました。

○町営住宅の整備基準と入居基準を改正しました。

○簡易水道の指導監督等の権限が移譲されたため、工事監督者、水道技術管理者の資格基準を定めました。

# 地域主権改革がスタート

# 地域の独自性

## ～ 関係条例の制定

### その他の議案は

新型インフルエンザへ迅速対応

蔓延の恐れがある場合は

対策本部設置

対策法の交付により、新型インフルエンザ等の蔓延の恐れがある場合、町長を本部長とした対策本部を立ち上げて迅速な対応を図るためのもので  
す。  
(全員賛成)

不当行為防止のために

暴力団排除条例の改正

今回の改正は、暴力的要求行為の追加、対立抗争等に係る暴力行為の賞揚等の規制、損害賠償請求等の妨害の規制等の5項目が加わりました。  
(全員賛成)

過疎計画の変更は

ソフト枠増による追加事業

過疎対策事業のソフト枠が拡大されたために、農道や用排水路の整備を、原材料支給により地域の協力で実施してきたものを「元気な地域をつくる実践事業」として枠に組み入れました。  
(全員賛成)

辺地計画の変更は

農道整備のために事業追加

山上辺地に農道中ノ町・宝ノ沢線の改良工事を追加するための変更です。  
(全員賛成)

人権擁護委員候補者推薦に同意



大楽 洋子さん

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の候補者に田口字久保田の大楽洋子さんが、適任であると同意しました。  
(新任) 任期は平成25年7月から3年間。

予算補正の状況

会計区分	補正した金額	補正後の予算額	結果
一般会計	1億7,677万円	52億 168万円	全員賛成
特別会計			
国民健康保険	4,127万円	6億9,766万円	
簡易水道	△182万円	1億 231万円	
農業集落排水事業	49万円	7,523万円	
林業集落排水事業	46万円	2,714万円	
介護保険	28万円	6億1,975万円	

予算補正の状況

歳入

基本的に事業費が確定したことによる補助金等の整理である。主なものとして幼保一体化施設補助金23224万円、過疎債4億5810万円の増等であります。

歳出

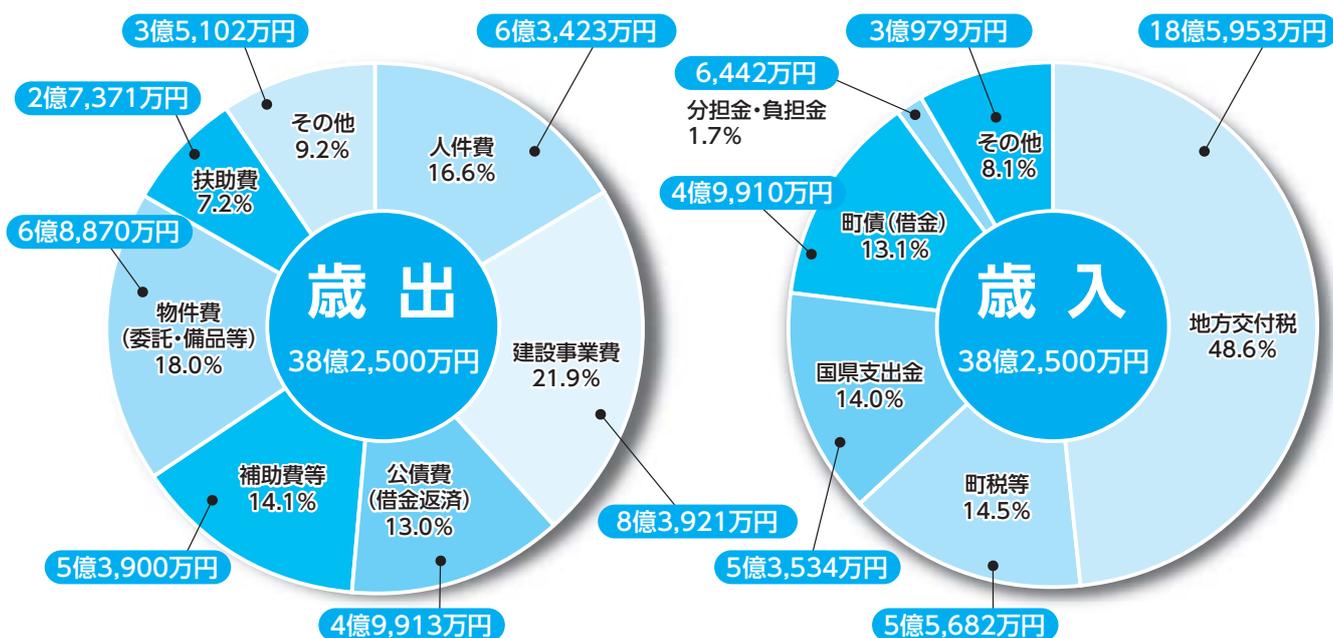
道路改良費・道路維持費2066万円、道路橋梁維持費5990万円の増が主である。余剰が生じたため文教厚生基金に1億729万円を積み立てる。繰越金は13億3856万円あります。  
(幼保一体化施設工事が主である。)

# 総額53億余の予算!



～ 町6次振興計画の目標達成のため ～

## 25年度一般会計予算



### 25年度各会計の予算額と採決の状況

会計名	予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	38億2,500万円	△4.0%	賛成11、反対1で可決
特別会計			
国民健康保険	6億7,296万円	2.5%	全員賛成で可決
簡易水道	1億837万円	6.2%	〃
農業集落排水事業	7,339万円	△0.4%	〃
林業集落排水事業	2,324万円	△12.6%	〃
介護保険	6億2,021万円	3.7%	〃
後期高齢者医療	5,653万円	△0.7%	〃
計	53億7,970万円		

### 一般会計予算額の推移



**予算の特徴は**  
 平成25年度一般会計当初予算は38億2,500万円で、前年度と比べると4%減額となりました。歳入では税収、町債などが増となり、国庫補助金が減となります。歳出では、庁舎太陽光パネル設置、社会福祉扶助費、家屋及び農地除染委託料や企業立地促進助成金、町営住宅ストック総合計画委託料、児童生徒の学力向上講師賃金、町民第1体育館建替え調査委託料など積極的に予算が計上されています。

# 主な新規事業

## 越代のサクラ公園 駐車場整備事業

例年多くの観光客で賑わう越代のサクラ周辺に駐車場を整備する。土地購入9,357㎡、駐車場の整備。

**4,500万円**



今年の開花は早まりそう？

## 古殿小学校事業 グランド芝生化事業

小学校校庭を芝生化し児童の体力向上などを図る。

**339万円**

## 中学生学力向上事業

非常勤講師2名を雇い数学と社会2教科の学力向上を図る。

**548万円**

## 健康管理センター 改修事業

経年による改修のための設計委託料。トイレ改修や施設内部のバリアフリー化、そして冷暖房設備の改修と全面的な整備を図る。

**380万円**



建設から20年が経過した健康管理センター

## 橋梁改修事業 (長寿命化対策)

橋の強度を保ち安全度を高めるための改修工事。仮宿橋、萱附上橋、西渡橋などの6つの橋の設計と調査業務委託料

**2,100万円**



長寿命化工事が行われる大道作橋

## 町民第1体育館 改築事業

大震災により大きな被害を受けた町民第1体育館を改築するための調査設計委託料。

**6,000万円**

一般、広報、財政、財産、税、戸籍、選挙等の費用

**総務費  
93,700円**

社会福祉（生活、障がい、高齢）、児童福祉等費用

**民生費  
144,300円**

義務教育、社会教育、保健体育等の費用

**教育費  
81,104円**

農業委員会、農業（農業・畜産・農地）林業の費用

**農林水産業費  
70,700円**

借入金（元金・利子）の返還に係る費用

**公債費  
87,200円**

## 25年度一般会計

町民一人当たりの金額



**668,000円**

**衛生費  
60,300円**

保健予防・検診やごみ、し尿等の環境衛生の費用

**土木費  
59,900円**

道路橋りょうや河川、住宅等の維持管理費等

**消防費  
29,500円**

消防設備や消防団、広域消防組合の費用

**議会費  
12,600円**

議会運営に係る全ての費用

**商工労働費  
25,600円**

商工業と観光及び労働に関する費用

※人口は5,726人として算定

# 予算審議

## 一般会計

(質疑の一部を掲載)

**Q** 土木費国庫補助金が前年対比で約3分の1となっているがその要因は何か。

**A** 補助を受け町道2路線を実施中だがのり面対策分が減少したためです。

**Q** ごみステーション移転工事補償金は1箇所のものと思うが、別ページに建築費として2箇所分の事業費が計上されているが。

**A** 竹貫田内の国道改良工事に伴う移転補償によるものと横川地内に1箇所新設する工事費が計上されています。

**Q** 基金利息297万円を見込んでいるが、監査報告で有利な運用を指摘されたが具体策は。

**A** 資金運用計画に基づ

き国債と定期預金に分けて安全確実な手段で運用をしております。

**Q** 町では銀行株も所有していたが現在の状況は。

**A** 現時点で15000株を所有しております。

**Q** 新エネルギー事業の各補助金があるが定着してきていると評価して補助を継続しているのか。

かなりの実績があり、面的には高いものと認識しています。中でも太陽光発電については昨年度も追加補正した経緯があります。

**子ども・子育て実態調査**はどのような目的でどう調査し、どう反映させるのか。

法律に基づくもので、詳細はまだ不明ですが、子ども・子育て会議というものを設定し、その中の意見集約と実態調査結果に基づき計画書を作成します。

**Q** 地域防災計画策定委託料があるが、これは全て一から見直すのか。それとも現在の防災計画の必要な部分の見直しなのかどちらか。

**A** 既存の地域防災計画を踏まえ全体的な見直しを行います。

**Q** 除染作業委託料はどういう作業を想定した身の委託なのか。

**A** 家屋と農地の除染作業と堆肥と稲わらの運搬業務の委託を含めたものです。

**Q** 恵みの農地再生事業は遊休農地活用ということで柿等が植栽され継続しているが、幾つかの課題解決への対応は。

**A** 枝の選定技術や施肥指導等を実施してきたが今一つ盛り上がりがない状況です。

**Q** 企業立地促進助成1342万円の中身は。

**A** 条例に基づき、施設の増設と雇用拡大を図った一企業に対する助成金です。

**Q** 町営住宅ストック総合計画策定委託料350万円の具体的内容は。

**A** 25年度中に計画を成しない補助対象とならないことから作成するもので、既存計画に高齢者並びに子育て世帯等を考慮した住宅整備を行うための委託料です。



今後の利活用が待たれる愛宕団地

**Q** 学校給食で食物アレルギーが問題化しているが除去食の対応はなされているか。

**A** 対象となる児童生徒を把握しており、医者の方の指導を受けながら対応しております。

**Q** 町史編纂の予算があるが、主な作業はどこで行うのか。

**A** ふるさとセンターの事務室を予定しております。

## 討論

(反対) 岡部淳一議員

町と町民の将来を考える新規事業に入れるべきものは、人口減少対策費と雇用問題対策費伴う専門の部署の配置など町民の声に応えるべきとの考えから反対します。

(賛成) 佐川勇司議員

厳しい財政状況の中においても除染事業や子育て支援、高齢者福祉、雇用対策など積極的な予算であることから賛成します。

## 採決

賛成起立者多数

(賛成11反対1)



## 国民健康保険

### 質疑

**Q** 現在の状況では保険税を引き上げしなければならぬ状況なのか。

**A** 現在までの状況ですと引き上げしなければならぬと見えています。

**Q** 昨年は一般会計からの繰入をしたが今年度は、基本は独立採算ですが、今後の医療費の動向を見て検討します。

## 簡易水道

### 質疑

**Q** 昨年の事故を踏まえたような対策を踏まえた予算なのか。

**A** 基本的には管理委託の中身の問題なので、金額の増減はありません。

## 林業集落排水

### 質議

Q 事業状況に変更がない中、一般会計からの繰り入れが減った理由は。  
 A 23年度と24年度の2カ年間をかけて管路の清掃を実施しました。25年度はそれが無くなったため減少です。



明るく楽しくゲーム体操

## 介護保険

### 質議

Q 特別養護老人ホーム「ふるどの荘」の入所者の負担が増えると聞いているが介護保険予算との関わりはないか。  
 A 入所者の居住費（部屋代）が、25年4月より改定されることから、低所得者の負担軽減に伴う介護保険会計からの給付費が増えます。



デイサービスセンター「コスモス荘」

## みなさんからの

### 請願

◎地方財源の確保を求める意見書提出の請願

「提出者 福島県連合会 議長 石川地区連合会 議長 高宮 清」  
 「紹介議員 高木節男」

### 審議の結果

### 採択

(意見書提出先)

内閣総理大臣ほか

◎福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

「提出者 福島県連合会 議長 石川地区連合会 議長 高宮 清」  
 「紹介議員 高木節男」

### 審議の結果

### 採択

(意見書提出先)

内閣総理大臣ほか

## 議員発議

### 委員会条例の改正

発議者 佐川勇司  
 賛成者 矢内泰吉

地方自治法が改正され常任委員の選任方法が条例に委任されたことによる。町議会では、本会議の中で各委員を選任することになりました。

### 国に意見書の提出

◎地方財源の確保を求める意見書

発議者 佐川勇司  
 賛成者 緑川栄一

ほか4人  
 地方の自主財源であるべき地方交付税を、人件費削減を口実に減じることへの反対意見。

◎福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

発議者 佐川勇司  
 賛成者 緑川栄一

ほか4人

## 常任委員会

25.3.11

総務常任委員会は付託を受けた2件の請願審査と放射能汚染物質仮置場、産業建設常任委員会は工事の進捗と仮置場を調査しました。

### 総務

#### 常任委員会

放射能汚染物質の設置場所を調査し、担当職員から説明を受ける。

各委員からは、仮置場パイプハウスの設置方法や、現在の一時保管場所の数量と今後の徐染方法、除染物質の仮置場への搬入方法、堆肥・稲藁の保管スペースについて確認がなされた。

### 産業建設

#### 常任委員会



繰越予定工事を確認(産業建設常任委員会)

#### 現地調査

道路改良工事町道馬場集り線  
 道路改良工事町道竹貫田いわき線

#### 放射能汚染物質仮置場

◎委員会での意見  
 道路改良工事については繰越は止むを得ないが早期の完成を目指すこと。新設馬場橋から集りまでの有効活用を図ること。仮置場については計画以上の搬入を想定した施設管理を検討すること。



完成した仮置場(総務常任委員会)



町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをただす

# 一般質問

一般質問は、3月12日に6人の議員が9問の質問を行いました。質疑応答の一部を要約してお伝えします。(順不同)

**鈴木** 本町は豊富な森林資源に恵まれ、人工林面積が5400ヘクタール程あります。この資源は先人が植林し手入れをして現在に受け継がれております。しかし現在の林業を取り巻く情勢は厳しいものです。そう言う中で、町では千年の森育成事業が実施され、現在も継続していますが、林家にとってこの事業の増強は非常に力強いものであります。そこで千年の森

**町長** 育成事業の評価について伺います。  
**鈴木** 今後に向けた林業

## 森林整備の現状は



すずき いちろう 議員  
鈴木 一郎

## 補助事業により大きな効果が

町長

振興策は。

**町長** 千年の森育成事業を今後も継続していくと共に、整備の進んでいない森林所有者への働きかけを行うことにより、間伐面積を拡大させ、用材の搬出量を増やすための仕組みづくりや、搬出された木材を取り扱う林業関連施設の必要性について検討を進めたいと考えています。

**鈴木** 林業後継者となる若手技術者の育成は。

**町長** 従来から実施して

いる刈払機及びチェーンソー講習会を次年度も古殿町で実施すると共に、林業関係者と若手技術者の育成についての協議をしたいと考えています。

**鈴木** 放射能による林業への影響をどう捉えているか。  
**町長** 古殿町から搬出された木材は、市場等に出荷され全て取引されています。ただし、放射能による風評などが木材の価格に影響を与えていることは否めません。



間伐により多面的機能の強化が進む

# 一般質問



さがわ ゆうじ 議員  
佐川 勇司

## 平成25年度主要事業と今後の取り組みは

## 活性化に向け検討し進める

町長

平成25年度主要事業は、いずれも町の活性化に必要な取り組みとありますが、内容確認のため幾つかの事業について伺います。

**佐川** 放課後児童クラブ運営ですが、現在の施設ではかなり狭い教育環境とします。十分な教育スペースと安心安全な教育環境確保のため施設建設が必要かと思うがどうか。

**教育長** 児童クラブ活動は、1階の部屋と2階の

**町長** 生産意欲を維持するために、優良大豆の生

産と、加工品の商品化に取り組みます。また、今後の支援等については大豆生産が軌道にのり、生産面積の拡大など状況に応じ検討します。

**佐川** イノシシ捕獲に対する助成ですが、猟期間の捕獲実績はどうか。今後は、猟期だけでなく有害駆除期間も助成対応すべきと思うがどうか。

**町長** 2月末時点で46頭の捕獲実績です。また、猟期以外の捕獲については、次年度から、国の補助による猟銃被害防止緊急捕獲等対策事業により取り組みます。

### 平成24年度イノシシ捕獲に対する補助

市町村名	補助額（1頭につき）
古殿町	20,000
平田村	20,000
石川町	15,000
鮫川村	20,000
いわき市	10,000

**佐川** 町道才竜内石神線の橋梁改修内容はどうか。また、本路線は主要な生活道路として道路整備は地域住民の念願であり幾度の要望書も出ていると思います。また、介護老人保健施設も開設され、利用者と家族・職員の重要幹線であり、福祉向上のためにも早急な整備が求められます。今後の取り組みを伺います。



整備が求められる町道才竜内石神線 ①



整備が求められる町道才竜内石神線 ②

**町長** 橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、詳細な調査・設計を実施します。今後も、特に急峻な区間について安心安全な通行の確保を図るため道路整備手法等を検討しながら逐次整備を進めたいと考えています。



きど ひさやす 議員  
木戸 久康

## 中学生の学力向上事業とは

### 専任講師2名を配置指導

教育長

**木戸** 中学生の学力向上事業とは、どんな事業か。

**教育長** 非常勤講師2名を中学校に配置し、比較的不得意な科目である数学と社会の学力向上を図るものです。これにより子どもたちの学ぶ意欲が刺激され、ひいては将来の選択肢が広がることを期待しています。

**木戸** 放課後児童クラブ事業は継続だが、施設建物の設置の考えはないか。

**町長** 既存のスペースで

できることから、新たな施設建設については考えておりません。

**木戸** 幼保一体化事業の進捗状況は。また、周辺の環境整備はどうなっているのか。

**町長** 3月中に造成工事及び施設建築工事の入札を実施します。周辺の環境整備事業は施設南西側の山林の買収が済んだことから、現在は立木の伐採等を進めています。進入路は、町道横川第一線



建設工事に伴い周辺整備が進む  
「幼保一体化施設」

も改良を進めます。

**木戸** 大原小跡地の利用検討委員会の答申内容は。

**町長** 森林資源活用事業検討委員会で、林業の現状と問題点や後継者対策、林業振興、森林所有者の利益につながる施設の必要性について協議しております。間伐促進のための路網整備、後継者対策など林業振興に必要となる施設整備を検討すべきとの報告を受けています。

**木戸** 越代のサクラ周辺の整備とはどのような内容の事業か。

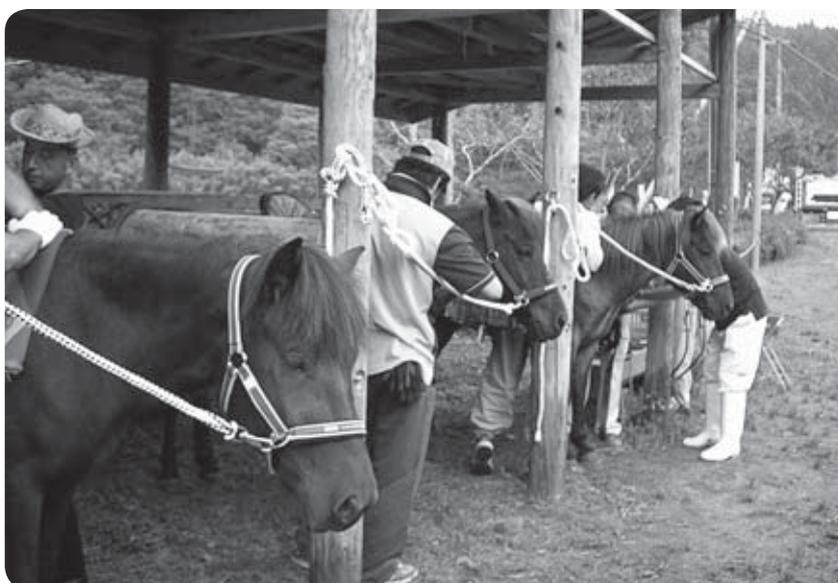
**町長** 桜の開花期間に駐車場として利用している公園周辺部の用地9357㎡を買収し駐車場の整備をします。

**木戸** 町民第一体育館建設に向けた町長の考えは。

**町長** 検討結果報告に基づき、建設場所を含め内部検討を進め、26年度に建設したいと考えています。

**木戸** 給食センターの町内建設の考えはあるか。

**教育長** 現時点では、町内への建設は考えていません。



射手育成のために導入された和種馬3頭

**木戸** 温泉施設を創る考えはあるか。

**町長** これまでも検討協議を行ってききましたが、現段階で温泉単体での整備は難しいものと考えます。

**木戸** 流鏝馬保存会のあり方と、流鏝馬の祭りに町として関わり方を検討する気はあるか。

**町長** 流鏝馬保存会は、平成4年度に設立されて現在まで流鏝馬の射手育成に取り組んできました。更に20年度には、和種馬を購入し射手育成の環境充実に努め、流鏝馬保存伝統継承に貢献して頂いていると認識しています。



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

原発事故が生活に及ぼした諸問題は

不安を払拭できる取り組みを

町長

**岡部** 安部政権が誕生し、この政権の変化の中に、事故により被害者にさせられた県民・町民にとって絶対受け入れることが出来ない、原発ゼロのゼロベース見直しと再稼働が明言されました。そして今、事故の意識的風化があり、国もマスコミも福島という一地方で起きた過去の事故にしようとしています。「安全を確保すれば再稼働する」ことはあまりに

も被害者を無視した考えであり、原発を動かせば「核のゴミ」が際限なく溜まり続けます。そこで事故への考え方、明確化と対応について伺う。県知事は事故は人災との認識を示したが町長の考えは。 **町長** 直接的には津波災害だが、被害が拡大した要因は、これまでの安全基準が、地形、地理条件を十分考慮していなかったと思います。



完成した仮置場

**岡部** 国政の場で「原発は、まだ収束していない」との認識が示されたが、被災した町の町長としての認識は。 **町長** 原子炉の冷温停止状態が維持されているとはいえ、建屋内の調査もできず、被害状況も確認されていない現状からは、事故が収束しているとは考えにくいものがあります。

**岡部** 仮置場を含む除染計画の実施状況と今後の進め方、町及び町民の賠償問題の捉え方と対応についてどう考えているのか。 **町長** 仮置場の造成工事が完了し、現在は一時保管している土砂の搬入とパイプハウス工事を発注しています。宅地除染は、メッシュ調査の結果により作業を実施していますが、犬仏7世帯は完了しています。地方公共団体賠償は、8つの事業について協議しているが、範囲が限定されている状況です。

**岡部** 公表された甲状腺検査結果と民間医療機関で始まった検査体制についての考え方と対応は。 **町長** 検査結果は、放射線との因果関係が明らかではなく、注意深く見守りたいと考えています。町の甲状腺検査については、今年度実施予定になっていきますので、県立医大と協議を進めていきます。 **岡部** 鮫川村での放射能汚染物減容化実証事業について、接する町として



石川管内の検査拠点施設「ひらた中央病院」

どう考えているのか。 **町長** 地域住民の不安を払拭できるよう、安全・安心第一で取り組んでほしいと思います。

**岡部** 農地除染に関して、野草利用の現状と今年度の水田放射能低減化事業は。 **町長** 野草・土手草等の利用自粛解除については県から具体的回答は得られていません。現時点での解除の見通しはたまたま状況です。

水田放射能低減については、カリ肥料が極めて有効なことが確認されたので、購入経費を補正予算に計上しました。

その他の質問

- 町民からみた町の現状と今後の町の在り方、町づくりについて
- 今年度町を取り巻く事業や施策と取り組むべき課題



たかぎ せつお 議員  
高木 節男

## 岡部町政10年間の成果は

## 町民の目線で誠実公正に

町長

**高木** 町民目線に立った公正公平な岡部町政も、10年の節目が過ぎました。この10年間は、自民党から民主党、昨年末には民主党から自民党への政権交代があり、2年前には東日本大震災や原発事故など変化の激しい時代でした。このような状況と過疎化が進む中で、10年間の成果と経緯を、今後の町民生活上のための重点事業等どのように活かされるのか伺います。

**町長** 千年の森育成事業の成果は。

**町長** 平成13年度から平成23年度までの11年間で約2000ヘクタールの間伐が行われています。

**高木** 町民憩いの森の成果は。

**町長** 平成18年4月に開園し、保育所、幼稚園行事、町民のウォーキング家族の憩いの場として利用されてきました。グラウンドゴルフやグループでのバーベキューなどの利用も増え町民の憩いの場として定着してきたと認識しています。

**高木** 鮫川村への学校給食業務委託の成果は。

**教育長** 平成18年の2学期から委託していますが、地元の良い食材、食文化を子ども達に伝えていくことも学校給食の大切な役目であり、安全でおいしい給食を提供することを目標に献立作りに励んでいます。

**高木** 統合小学校の跡地利用の進捗状況とその成果は。

**町長** 統合により跡地となった5か所のうち4か所については方向性ができました。論田小学校跡地については、これまでいくつか照会がありましたが、具体化には至っておりません。今後も県などを通じ、自然環境の良さなど活用についてピーアールして行きたいと思っています。

**高木** 統合小学校の体育館として併用している女性若者活動促進施設の利



グラウンドゴルフで賑わう町民憩いの森公園広場

**町長** 震災、原発事故等の影響で町民第1体育館、町民グラウンドの使用が控えられたため利用が増えました。昼間は子ども達の体育の授業、特設クラブの活動、学校の行事などに利用され児童の体力向上に寄与しています。

**高木** おふくろの駅が道の駅となり、法人化された成果は。

**町長** 平成22年4月から道の駅としてスタートしました。震災の影響により一時売り上げが落ちましたが、昨年12月の利用者、売上額から推測すると震災前まで回復すると思っています。

**高木** 商工業振興策の取り組み状況と成果は。

**町長** 町内消費拡大と商店活性化を目的としたプレミアム商品券発行に支援しています。町独自に町企業立地促進条例を制定し、既存企業に対する支援を行っています。

**高木** 農産物活用による特産品づくりの取り組み状況とその成果は。

**町長** 山菜うどん、米粉うどんを商品化しました。今後は、大豆を使用した加工品の商品化に取り組めます。

**高木** 町民の声を大切に

**町長** 町民の目線で誠実

**町長** 町民の目線で誠実

**町長** 町民の目線で誠実



有効活用が待たれる旧論田小学校



さとう かずお 議員  
佐藤 一夫

「中田・論田線」の未開通部分は

平成25年度新規採択に内定

町長

**佐藤** 広域農道・農地整備事業で実施している中田・論田線は、平成17年度で休止しています。この区間は、石川町地内の工区ですが、全線開通になればわが町にとって、大きな利便性を生む事になります。一日も早い着工を望むものですが、町としてどのような働きかけを行っていくのか伺います。

**町長** 事業休止区間となつて以来、毎年、石川地域農道・農地整備事業促進協議会として、県に対し関係町長とともに、早期着工に向け要望活動を行ってきました。現時点で、平成25年度新規採択地区に内定したとの回答を得ましたので、今後は、早期開通に向け、計画的かつ着実に整備されるよう要望活動を行います。



早期完成が望まれる中田・論田線（未着工区）

平成25年度の重要施策は

重点事業を確実に実施

町長

**佐藤** 越代のサクラ周辺の土地購入と、その後の整備は。また、現在までの投資額はいくらか。

**町長** 現在利用している駐車場周辺用地、9357㎡の購入と駐車場の整備です。現在までの事業費は2370万円です。

**佐藤** 大豆利用による特産品の具体策は。

**町長** 大豆栽培に取り組み3年になり、面積も増えてきたことから、加工品の商品化を実施し、委託加工で試作中です。

**佐藤** 町民第1体育館改築に対する町の方針は。また、どのような根拠に基づき委託料予算か。

**町長** 検討委員会報告に基づき、建設場所を含め内部検討していますが、平成26年度に建設したいと考えています。測量調査設計委託料として6000万円を計上しました。

**佐藤** 完成した仮置場への汚染物の搬入の手順とモニタリングの実施と判断は。

**町長** 仮置場へ搬入する汚染土壌等は、委託業者による詳細測定に基づき判断します。



整備が進む汚染物の「仮置場」

# 第1回臨時会

25.2.13

## 水道の濁水混入事故に損害賠償 憩いの森公園倒木の物損事故も

平成25年第1回臨時会は、2月13日に開かれ、昨年11月8日に発生した簡易水道の水質汚濁事故にかかわる損害賠償と今年1月14日の降雪による倒木物損事故の損害賠償、幼保一体化施設周辺山林の買収のための一般会計補正予算を、原案とおり可決しました。

### 議案審議

#### 損害賠償（濁水混入）

##### ○被害の実情

濁水が水道水に混入したため、製造した製品が販売できなくなる被害が生じた。

Q 賠償額の決定には全く不服はないが、なぜ専決処分で行ったのか。

A 和解が成立した中では出来るだけ早く賠償額を支払いたいことから専決処分としました。

#### 損害賠償（物損事故）

##### ○被害の実情

町が管理する町民憩いの森敷地内の木が大雪のために倒木し、軽貨物自動車を破損した。

#### 一般会計 第6次補正予算

幼保一体化施設周辺山林の買収及び立木補償費のほか損害賠償の保険対



沢浄水場配水池

### 予算の補正状況

会計区分	今回補正した金額	補正後の予算総額
一般会計	934万円	52億1,102万円

### 質疑

#### Q 買収面積は。

A 地権者2名、2筆で8103㎡です。

象外となる町支出分など歳入歳出それぞれ934万円を追加して、予算総額を52億1102万7千円とするものです。

# 全員協議会

25・2・13

#### 〈報告事項〉

①平成25年度主要事業について

新年度予算の総枠が固まったので、主な70事業についての説明がありました。

②町簡易水道汚濁水混入事件に係る経緯について

昨年の12月議会以降の経過について報告がなされました。

③町民憩いの森敷地内の倒木による物損事故に係る経緯について

1月14日の降雪は役場前で約28センチメートルありました。町民憩いの森公園の大作に面した杉の木が倒れ、駐車場に駐車していた軽トラックの運転席を直撃し損害を与えたものです。人的被害はなく、所有者の意向として修理する費用を弁償するものです。

25・3・14

#### 〈報告事項〉

①古殿町公民館改修について

町公民館を改修するに当たっては、建物の躯体の検証が必要とのことで構造解析を進めてきた結果問題がないことが報告されました。

### 質疑

Q 実施設計ができれば発注ということになるのか。

A 設計が済み次第第25年度において実施したいと思えます。



増改築の設計が進む町公民館

# 第2回 臨時会

25.3.28

平成25年第2回臨時会は、3月28日に開かれ、復興交付金の交付決定に伴う基金条例、幼保一体化施設建設工事請負契約の締結、来月24日で任期満了となる本郷弘之代表監査委員の後任に薄井憲一氏を監査委員に選任する議案のほか、年度末の事業確定に伴い一般会計第8次補正予算を含む特別会計補正予算などを、8件の議案を原案どおり可決しました。

## 議案審議

### ○東日本大震災復興交付金基金条例

古殿町復興防災づくり となったことにより基金事業が復興交付金の採択 条例を制定するものです。

### ○工事請負契約の締結について

- ・ 契約の目的 幼保一体化施設建設工事
- ・ 契約の方法 一般競争入札
- ・ 契約金額 7億7490万円
- ・ 契約の相手方 水谷工業(株) 代表 水谷磯雄
- ・ 工 期 平成26年3月10日

### ○監査委員の選任について



監査委員に選任された薄井憲一氏

## 一般会計 第8次補正予算

年度末に地方交付税が確定するなどして歳入歳出をそれぞれ5983万7千円を追加し、予算総額を53億6833万8千円とするものです。

## 質疑

### 基金条例関係

Q 基金の額は。

A 今回交付を受ける675万円です。

### 工事請負関係

Q 落札決定の経緯は。

A 契約者となる者を県内に本店・支店・営業所とする資格要件を付して入札後に資格審査を行う事後審査方式により実施した結果、1番札の業者は県内要件を満たしておらず、2番札の業者が落札決定者となりました。

# 追跡レポート

## その後 どうなった？

### テーマ 町史編さんの取り組みは

#### Q 平成22年12月一般質問より

町史が編さんされてから40年が経ちます。平成13年には、町史編纂委員会設置要項が制定されましたが、その後どのように進められたのか。

#### A 教育長 答弁

平成14年度から町史編纂に取り組むとありましたが、同時に統合小学校に向けての事業がスタートしたため、これを最優先事業としました。今後は、本事業の在り方について検討します。

### その後の対応

平成25年度予算に編纂に係る経費が計上されました。5年後を目標にビジュアル本を作成します。

# みんなのページ

今回は、健康のために始めたフラダンスで各種イベントや福祉施設ボランティアで活躍している  
**古殿町フラサークル プアリリィ**の皆さんです。

## ☆いつ頃、どのような経緯で発足しましたか。

平成19年9月頃、運動不足解消のため、何か体に良いこと始めたいね、フラダンスいいんじゃない。が始まりでした。



勢ぞろいしたメンバーのみなさん

## ☆どんな活動をしていますか。

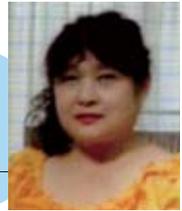
平成24年の1年間は、夏祭り、やぶさめ祭りなど、町内外のイベントに10回の出演依頼があり、踊らせて頂きました。

介護施設のボランティアが多いのですが、私たちのつたない踊りを見て、まねて動かない腕が上がったおばあちゃん、ピンクのドレスを見て、表情の緩んだおじいちゃん、などなど、温かな良い笑顔と、ありがとうの言葉を頂き、私たちは毎回、胸一杯の喜びと感動を頂いて帰ってきます。



積極的にボランティア活動を行っている

会長  
亀下 敏子さん



## ☆練習はいつ、どこでしていますか。

現在、会員は16名で、月3回第2,3,4月曜日に竹貫集落センターで行っています。



福祉施設でフラダンスの披露

## ☆今後どのような活動をしたいですか。

地域の皆様に、私たちの練習成果を見て頂くとともに、今後も施設の訪問を重ね「来てよかった」「踊って良かった」「ありがとう」と喜ばれる活動をしたいと考えています。いつまでも健康で明るく前向きに生きようと始めたフラ。今、私たちの生きがいになろうとしています。一緒にフラ踊ってみませんか。

**“町政を知るよい機会”**  
**議会を傍聴してみませんか**

次回の  
定例会

**6月** 中旬